

検討委員会での中高一貫教育に関する主な意見

○ 積極的な意見

- ・もっと個性を伸ばし、多様化する子供たちを育てる学校があってもよく、進学校の一つがそのような中高一貫校になってもよいのではないかと思う。
- ・自分で自分の人生を切り拓くことができ、社会の役に立つ人材を育成するために中高一貫校を設置すべき。
- ・中高一貫校が、予備校化するのではないかという危惧はあるが、県内に1校くらいあってもよいのではないかと思う。

○ 慎重な意見

- ・中高一貫校ができた周辺地域には大きな影響がある。リーダー的な存在として期待される生徒が中高一貫校へ進学することで地元の中学校が弱体化するのではないかという心配がある。
- ・広域で通学できる富山県にとって他県の中山間地でのような連携型の中高一貫教育の必要性は低い。
- ・設置される場所によっては、子どもを通わせることに躊躇する保護者もいて、新たな地域格差が生まれる可能性がある。
- ・中高一貫教育が優秀な大学に入学させることを主な目的とする教育方針となれば疑問を感じる。
- ・学力検査による入学選抜ができないため、生徒間の学力差が生ずることとなり、生徒一人ひとりにとって望ましい教育環境なのか疑問。
- ・他県では、県立高校と公立中学校の連携型中高一貫校の定員充足率が低い学校もあり、心配だ。
- ・保護者の間では中高一貫校があればよいという機運は高まっているとは思えない。